

- 3 人口分布パターンとその変動に関する研究
- 4 人口集積の構造と変動に関する研究
 - (1) 全国的研究
 - (2) メガロポリスに関する研究
 - (3) 人口減少地域に関する研究
- 5 人口分布の変動と地域の経済および社会との関係に関する研究
- 6 東北日本と西南日本の人口学的特性に関する研究
- 7 アジアにおける人口都市化と人口転換に関する研究

人 口 資 質 部

資 質 科

- 1 人口資質の理論と分析方法に関する研究
- 2 エコシステムと人口資質に関する研究
- 3 人口資質の集団遺伝学的研究
- 4 人口資質からみた疾病および死亡に関する研究
- 5 人口資質に関する国際的比較研究

能 力 科

- 1 人間能力の理論と分析方法に関する研究
- 2 社会環境と人間能力との関連に関する研究
 - (1) 出生力の分析
 - (2) 結婚に関する分析
- 3 婦人労働力の質に関する研究
- 4 人間能力に関する国際的比較研究

資 料 課

- 1 デモグラフィック・モデルに関する研究
- 2 人口統計の解析的研究
- 3 世帯統計の解析的研究
- 4 簡速静止人口表の作成とその諸方法の評価と分析
- 5 出生力調査結果の分析
- 6 人口統計資料の評価・補正および利用に関する研究
- 7 人口統計の表示に関する方法論的研究
- 8 人口情報の処理に関する研究
- 9 人口研究の動向に関する文献的研究
- 10 エコシステムと人口との関係に関する文献集の作成
- 11 所の発行する資料の編集および管理
- 12 図書・資料の編集および管理
- 13 定例研究報告会、シンポジウムおよびセミナーの開催
- 14 資料の照会に対する相談

昭和47年度実地調査の施行

本研究所においては、昭和15年に第1次調査を行なってから、戦後は昭和27年、32年、37年、および42年の4回にわたって「出生力調査」を実施してきているが、昭和27年以降は5年めごとに施行することになっ

ており、本年はその第6回めの調査を行なう年に当たる。この第6次出産力調査は、昭和47年6月1日現在で実施される予定であるが、その要綱を掲げると次のとおりである。

第6次出産力調査要綱

(昭和47年4月15日)

1 調査の目的

この調査の目的は、わが国最近の出生傾向の実態およびその諸要因を明らかにし、将来人口の予測と今後の人口対策に関する基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象および客体

妻の年齢50歳未満の夫婦を調査の対象とし、精密調査および事例調査を行なう。

精密調査は、昭和47年厚生行政基礎調査が行なわれる国勢調査区を親標本として、無作為抽出法によって、さらに300地区を抽出し、その地区内の該当夫婦(約10,500組)を、調査の客体とする。

事例調査は、出生力に特徴のある府県から、典型的な地域8か所を有意的に選び、その地域内の該当夫婦(約200組)を調査の客体とする。

3 精密調査について

(1) 調査の時期

昭和47年6月1日現在とする。

(2) 調査の事項

1) 夫妻の結婚に関すること

夫妻の出生地、初再婚の別、血縁関係

2) 夫妻の社会歴に関すること

夫妻の職業、農家は専兼業の別、妻の不就業の理由、夫妻の学歴、生家の職業、きょうだい数、住宅の室数、畳数

3) 夫妻の妊娠出産歴に関すること

夫妻の出生児の出生順位、男女の別、出生年月、生死の別、夫妻の出生児以外の妊娠数

4) 夫妻の出生に対する意識に関すること

現実の希望子ども数、理想の子ども数、現実と理想の差とその理由、子どもに対する価値観

5) 夫妻の出生抑制に関すること

受胎調節実行状況、実行の期間、偶発妊娠数

(3) 調査の方法

この調査は、人口問題研究所が県および保健所の協力を得て行なう。

調査は配票自計によるが、回収に当っては密封提出の方法をとる。

4 事例調査について

精密調査実施以後の適当な時期に厚生省人口問題研究所係官により面接調査を行なう。

5 結果の集計および公表

厚生省人口問題研究所が行なう。

定例研究報告会の開催

(昭和47年1月～3月)

<回>	<年月日>	<報告題名>	<報告者>
22	昭47. 1. 19	アジアの都市化——その理論的検討……………	駒井 洋 技官
23	昭47. 1. 26	人口分野におけるOECDの活動状況……………	岡崎 陽一 技官